

Nara Women's University

Vol.018

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 奈良女子大学社会連携センター産学官連携推進部門 公開日: 2008-06-27 キーワード (Ja): (財)人工知能研究振興財, バイオビジネスコンペJAPAN, 国際コミュニケーション基金, 財団法人C&C振興財団, 財団法人セコム科学技術振興財団, 財団法人日本科学協会, 財団法人発酵研究所, 産学官連携推進, 産学官連携推進室, 独創的シーズ展開事業, 日産学術研究助成, 納豆研究奨励金, 博報「ことばと文化・教育」研究助成, 福武学術文化振興財団, 旅の文化研究所 キーワード (En): 作成者: 社会連携センター メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10935/479

8月、9月の大学夏期休暇中には、一般・高校生・小中学生向け講座などが多く開かれています。準備作業などご苦労さまです。産学官連携推進室では教室案内の原図などをご用意しておりますのでお気軽にお問い合わせください。

9月 - 10月募集締め切りの公募事業特集号！

1. 新 産学官連携推進室ホームページが登場します (9/15予定)

産学官連携推進室ホームページのリニューアル作業が進んでいます。

公募事業情報は、トップページ「重要なお知らせ」に載せております。またご要望の多かった各種イラストデータにつきましてもダウンロードできるようにしております(一部、商標登録のあるものや、教室地図などはダウンロードできません。従来通り産学官連携コーディネーターにメールにてご請求ください)。

公募事業情報につきましては、この産学官連携推進室レターや、産学官連携推進室員より直接にお知らせするなど、募集時期を逃さないように学内連絡には今後も注意していきます。

公募事業情報は2箇所で開催しております。過去公募情報もまとめて掲載しておりますので、「公募準備」にご利用ください。



奈良女子大学 産学官連携推進室

産学官連携推進室ご紹介		MAGAZINE		
業務	研究紹介集	推進室レター	公募情報	関係
STUFF	研究者総覧	メールマガジン		
お問い合わせ	研究室紹介			メディア
産学官連携システム		知的財産		LINK
共同研究	WEB相談シート	知財ポリシー	知財公開	LINK
受託研究		職務発明		
受託研究員制度				
奨学寄付金制度				
		イラストデータ		
		大学ロゴマーク	記念館	
		地図	その他	

不定期に増やしていく予定です。時折り覗いてみてください。

主に学外の方向けコーナー

産学官連携推進室TOPICS

タンパク質のN末端アミノ酸配列解析技術(2005.9.1)
(理学部・中沢隆助教授・島津製作所・大阪大学)

重要なお知らせ

「科学技術政策シンポジウム」参加者募集(2005.8.13)
大阪科学技術センター(9月)15:30~17:30



省庁関係のニュースもこちらにアップします。

2. 各種公募案内

JST 独創的シーズ展開事業 委託開発

委託開発は、国民経済上重要な科学技術に関する大学等で生まれた研究及び開発の成果であって、特に企業化が困難な開発課題を選定し、企業に委託して企業化開発を実施することにより、新技術の実用化を促進することを目的としています。なお、開発が成功の場合、開発費の支出の返済を求めますが、開発不成功の場合は開発費の返済を求めないことにより開発リスクを独立行政法人科学技術振興機構が負担します。

【開発委託の要件】 開発費の支出額（企業化開発の最小規模、返済が可能な規模）： 1～20億円程度
（平成16年度採択課題の1課題当たりの平均3.2億円）
開発期間：2～7年程度 （平成16年度採択課題の1課題当たりの平均3.6年）

【公募時期】 平成17年9月1日（木）～平成17年10月31日（月）（消印有効）

【応募要件】 応募の要件委託開発の目的を踏まえて、応募内容は、以下の要件を全て満たす必要があります。

応募時点で新技術の発明者による研究開発成果（特許等）が存在し、かつ、その実施（少なくとも開発しようとする範囲に限り、開発期間及び優先実施期間中は開発実施企業が独占して実施できるようにJSTに実施権を設定できること）に関して新技術が帰属する機関等による同意が得られていること。

申請は、新技術の所有者と開発実施企業の連名による共同申請であること。（新技術の所有者と開発実施企業の要件は、（3）申請者の要件に示します。）

【対象分野】 次の分野で実用化を目指す企業化開発を対象とします。 ライフサイエンス 情報通信 環境
ナノテクノロジー・材料 エネルギー 製造技術 社会基盤 フロンティア その他

【問い合わせ】 独立行政法人 科学技術振興機構 産学連携事業本部 開発部 開発計画課
電話番号：03-5214-8994 メールアドレス：project@jst.go.jp

財団法人 細胞科学研究財団 平成18年度研究助成募集要項

<http://www.shionogi.co.jp/zaidan/>

【助成金額】 1件300万円 10件以内（期間1年間）

【公募時期】 平成17年9月1日（木）～平成17年11月4日（金）（必着）

【応募要件】 応募時満45才未満の独立した研究者。

【対象分野】 病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究。但し、本年度の助成研究対象分野として下記のテーマを指定致します。(1) siRNA・基礎と臨床 (2) 転写因子・基礎と臨床

【問い合わせ】 財団法人 細胞科学研究財団 TEL：06-6202-2139 FAX：06-6202-1996

財団法人 第一住宅建設協会 平成17年度研究助成募集

<http://group.dai-ichi-life.co.jp/d-housing/boshu.html>

住生活の改善向上をはかるための研究について助成し、併せて若手研究者の育成および学術研究の発展に寄与することを目的とします。助成は「一般研究」、および若手研究者向けの「奨励研究」の2種類に分けて行います。

【助成金額】 「一般研究」150万円以内、「奨励研究」80万円以内（総額1000万円以内）

【公募時期】 ～平成17年11月15日（火）（必着）

【応募要件】 「一般研究」大学、その他の研究機関に常勤で在籍し、研究活動に従事している研究者
「奨励研究」同上。ただし、申請書の提出期限日において40歳未満の若手研究者。なお、非専任の研究助手、オーバードクターで日本学術振興会特別研究員等も対象となります。いずれも、日本に在住する研究者とし、大学院生、専攻科生などは対象となりません。

【対象分野】 わが国の住宅、都市、土地に関し、経済、社会、法律、歴史、制度、計画およびこれらの複合的視点から、住生活の改善向上をはかるための研究を助成の対象とします。研究の対象を「外国」とすることはかまいませんが、主題はあくまでも「わが国の住生活の改善向上をはかるための研究」として下さい。

【問い合わせ】 財団法人 第一住宅建設協会 TEL：03-5221-5826

第1回『博報「ことばと文化・教育」研究助成』

http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/josei_01.html

豊かさをもち論理的思考に適した「日本のことば」を更に発展させていく研究や、豊かな日本のことばを育む「日本の文化」に関する研究、さらに考える力を育む「ことばの重要性を活かした教育」の研究を助成することにより、教育基盤の充実に支援することを目的としています。

【助成金額】 ・1件につき300万円を限度に、研究を助成します。 助成総額3,500万円

・交付時期と研究期間 助成金は2006年3月に交付し、助成期間は1年間とします。研究期間は2006年4月～2007年3月です。

【公募時期】 平成17年11月30日(消印有効)

学内締め切り 11/16
(研究協力課)

【応募要件】 ・日本の大学・研究機関に所属する研究者。年齢は問いませんが、若手研究者を優先します。

- ・助教授、講師、助手及びそれに相当する職 ・非常勤研究員、非常勤講師、大学院生
- ・個人研究、グループ研究どちらでも構いません。
- ・推薦 応募に際しては所属長(学科長、学部長など)、指導教員等の推薦が必要です。

【対象分野】 1.日本語に関する研究 2.将来の日本語の在り方に貢献する研究 3.ことばの豊かさを支える「日本の文化」に関する研究 4.ことばの重要性を活かした「教育」に関する研究
これらのうちのいずれかにあてはまる研究であること

財団法人 国際コミュニケーション基金

<http://www.icf.or.jp/icf/open/enter.html>

【調査研究助成】

対象 国際分野を主軸とし、また、国内も含めた情報通信の普及・発展、グローバル化、特に、ユビキタス・ネットワーク時代を先取りする調査、研究(法律、政治、経済、社会、文化、技術の各分野あるいは各分野にまたがるもの)。

助成・援助金額および件数 1件あたり300万円までとし、13件程度。

対象期間 調査研究が平成18年4月以降に開始され、平成21年3月までに終了のもの。

【国際会議開催助成】

対象 情報通信の普及・発展に寄与する国際会議。ただし、通信事業者等の本来業務に該当するものは対象外とします。

助成・援助金額および件数 1件あたり100万円までとし、10件程度。

対象期間 平成18年4月から平成19年9月までに開催されるもの。

【社会的・文化的諸活動助成】

対象 情報化社会の動向に即し、情報通信を通じて社会や教育等に貢献する各種の非営利団体(NPO)・非政府組織(NGO)の活動、「草の根」活動。地域社会の国際化(特にアジア太平洋地域)につながる各種の活動、情報通信を通じて社会に貢献する各種の文化事業、情報通信の普及・発展あるいは国際間の相互理解促進に寄与する活動や事業など(たとえば、イベント、講演会、ボランティア活動)。

助成・援助金額および件数 1件あたり100万円までとし、10件程度。

対象期間 平成18年4月から平成19年9月までに実施されるもの。

【公募時期】 平成17年10月3日(月)～10月20日(木)(必着)

【問い合わせ】 財団法人 国際コミュニケーション基金 TEL: 03-3347-7094

平成17年度『日産学術研究助成』

<http://www.nissan-zaidan.or.jp/>

【対象分野】 環境研究助成 大気中のCO2削減を目指した太陽エネルギーの有効利用に関する研究への助成
認知科学研究助成 人と機械のインターフェース革新を目指した認知科学研究への助成

【応募要件】 ポスドク・助手クラスの若手研究者

【助成金額】 150万円 1年(期間延長・助成金追加制度有)

【公募時期】 ~平成17年10月31日

【問い合わせ】 財団法人 日産科学振興財団 TEL: 03-3543-5597

財団法人C & C振興財団 2005年度「若手研究員助成」

http://www.candc.or.jp/jyosei/2005/wakate/wakate-boshuu_2005_00.htm

【助成金額】 研究調査費として200万円、及び海外で開催される国際会議に出席して研究成果を発表するための費用を支給します。

【公募時期】 2005年9月30日(金) (期日までに郵送にて必着のこと)

【応募要件】 1) 博士後期課程修了後、日本国内の別の大学(付属研究所を含む)に所属してC & C分野の研究に携わっている研究員 但し、助手等の定常的な職の有無や、日本学術振興会特別研究員の資格の有無などは問いません。

2) 現在所属する大学に2002年4月以降に所属した研究員

すなわち、博士後期課程修了後、同一の大学に所属する者、及び現在の大学に2002年3月以前から所属する方を除きます。

3) 研究内容が優れていること

4) 原則として、2005年4月1日現在、33才以下の方

【対象分野】 C & C(半導体デバイス技術、情報処理技術、電気通信技術、及びこれらの技術の融合した技術分野)分野及びその関連技術

【問い合わせ】 財団法人C & C振興財団 TEL: 03-3457-7711

財団法人日本科学協会

<http://www.jss.or.jp/sasagawa/index.html>

この事業は、人文・社会科学及び自然科学(医学を除く)または、境界領域の研究計画に関するものを対象にし、萌芽性、新規性及び独創性のある内容をもった研究内容で、意欲に満ち優れた研究を行う若手研究者の育成のため、その研究に対する助成を行うものであります。

特に、平成9年度より、従来からの一般科学研究の他に、地域市民の生涯学習の場として重要性が増しつつある博物館、図書館等で活躍される学芸員、図書館司書等がおこなう研究、そして海洋資源、海洋環境、海上輸送などその役割と重要性が認識される海洋・船舶科学領域の研究に対して視点をあてた助成を対象領域に加えました。

旅の文化研究所「公募研究」

<http://www.tabinobunka.com/>

【対象分野】 ・「移動・旅・観光に関連する諸問題」をテーマとした研究を対象とします。
・研究内容は独創的であることを要し、海外調査をとまなう研究をも含みます。

【応募要件】 申請時ならびに研究期間中において日本の大学の大学院に在学する学生、日本の大学または大学院に籍を置く研究生(留学生を含む・海外からの出願も可とする)を対象とします。*研究指導者の推薦書を添付してください。

【助成金額】 研究プロジェクト1件あたりの研究費は、60万円以内です。

【公募時期】 ~平成17年10月31日(月)(当日消印有効)

【問い合わせ】 旅の文化研究所「公募研究」 TEL: 03-3863-3181

第2回「納豆研究奨励金」

<http://www.natto.ne.jp/>

【対象分野】 (1)自然科学系(生物、化学、医学、農学、栄養学等)納豆と健康増進に関する研究/納豆の製造に関する研究
(2)人文・社会科学系 納豆のマーケティングおよび食文化に関する調査・研究

【応募要件】 短大、大学、大学院、専門学校、その他教育機関などにおいて研究活動に従事しているもの(学生、院生も可)

【助成金額】 一件20万円 × 3件

【公募時期】 ~平成17年10月31日(月)

財団法人発酵研究所平成18年度研究助成募集要項

http://www.ifo.or.jp/subsidy/sub_fj1.html

【助成金額】 助成期間は平成18年4月1日～平成19年3月31日を単年度とし、最長3年まで継続できる。助成金額は、1件あたり各年度、研究課題(1)で300万円を上限とし、研究課題(2)で500万円を上限とする。例えば3年の助成を希望する場合、研究課題(1)で合計900万円を上限とし、研究課題(2)で合計1,500万円を上限として支給する。ただし、複数年度(2年または3年)の助成を希望する場合、各年度に提出された「中間報告書」を基に当財団の評価委員会で次年度の助成の可否および助成金額の増減を決定する。採択件数は、研究課題(1)で5件、研究課題(2)で3件を上限とする。

< 当財団からの助成に関わる研究で得られた菌株は、死滅、紛失を防ぐために保存機関に寄託する。 >

【公募時期】 2005年9月30日(金) (期日までに郵送にて必着のこと)

【応募要件】 日本の研究機関に所属し、微生物に関する研究を行っている個人。

【対象分野】 研究課題(1)「微生物の分類学的研究および培養株の保存に関する研究」研究課題(2)「健康や環境に関与する微生物の研究」。

本年度はとくに「病原微生物に関する研究」および「複合微生物系を利用した環境浄化に関する研究」を募集する。

【問い合わせ】 (財)発酵研究所 研究助成事務局 TEL: 06-6300-6555

財団法人セコム科学技術振興財団 平成17年度研究助成応募要領

<http://www.secom.co.jp/zaidan/>

【助成金額】 次の「一般研究」及び「特定総合研究」について助成いたします。

「一般研究」の助成総額は、6,000万円を予定しています。その内訳は、(1)1件当たり300万円の研究助成を15件程度(2)1件当たり100万円の研究助成を15件程度をそれぞれ予定しています。

「特定総合研究」は、研究分担者が連携し総合的に実施することにより具体的な成果が期待できる研究を対象とし、新規1課題(本年度は課題を特定しません。)、助成金額は年間1,000万円以下、研究期間は2年ないし3年を予定しています。助成金は1年ごとに交付します。2年目以降は進捗状況報告及び会計報告を含む所定の書式で申請していただきます。

【公募時期】 2005年10月31日(月) (期日までに郵送にて必着のこと)

【応募要件】 大学、独立行政法人、公益法人等に所属する研究者で、300万円の研究助成申請者(研究代表者)は、50歳以下、100万円の研究助成申請者(研究代表者)は、40歳以下とします。

【対象分野】 国民生活の安定向上を目指して、国民生活の安全・安心の確保を図るための研究(社会科学の研究を含む。)を対象とします。ただし、* 自然災害そのものに関する研究は対象としませんが、その結果として起こる社会的な災害及びその予防に関する研究は対象とします。* 機器等の開発については、新しい原理的なものは対象としますが、すぐに企業段階で試作にいたるようなものは対象としません。

【問い合わせ】 (財団法人セコム科学技術振興財団 TEL: 03-5770-0793

第6回 バイオビジネスコンペJAPAN 開催概要

<http://mic.e-osaka.ne.jp/biocompe/>

わが国バイオ産業の振興のため、大学、研究機関の研究シーズを活用し、バイオベンチャーの起業、ビジネスシーズ発掘、企業への技術移転、産学共同研究の推進、を目指す。

【賞金】 最優秀500万円×2件程度 優秀100万円×5件程度 協賛企業特別賞、バイオ先端知賞

【公募時期】 2005年11月15日(火)

【応募要件】 バイオ関連分野のビジネスシーズを基にしたビジネスプランを持っている法人、個人(国公立大学、研究機関、企業、バイオベンチャー、および研究者)

【対象分野】 バイオメディカル: バイオサイエンス: アグリバイオ: ナノバイオ: 環境バイオ

【問い合わせ】 (バイオビジネスコンペJAPAN実行委員会 TEL06-6920-3760

福武学術文化振興財団

当助成は、歴史学、および地理学の分野における学術研究に対し助成を行い、わが国の学術の振興および文化の発展に寄与することを目的としています。なお、平成17年度より応募要項の内容が改定されました。ご注意ください。

【助成金額】 大学・研究機関が承認する研究者 [上限1件150万円]
ただし、「学会、研究会の開催に対する助成」については、上限を50万円とします。

【公募時期】 2005年9月30日(金) (期日までに郵送) **学内締め切り 9/14 (研究協力課)**

【応募要件】 大学・研究機関所属の方は、その部局長の公印による応募の承認を必要とします。学位取得者の方は、取得を証明するものの添付を必要とします。

【対象分野】 歴史学・地理学、および地理学・歴史学の融合された研究分野に対し助成します。また、学会・研究会の開催に対する助成についても併せて募集します。

【問い合わせ】 財団法人 福武学術文化振興財団 事務局

(財)人工知能研究振興財団 人工知能研究助成

<http://www.airpf.or.jp/yoko.pdf>

企業、教育・研究機関、その他団体の研究者および研究グループ等において行われる「人工知能の研究等」に対し研究助成を行う。

【研究対象】 人工知能及び関連技術分野(人工知能を活用した情報処理技術、情報通信技術等)の高度化に関する調査、研究及び開発(以下、「研究」という。)であって、次の各号に掲げるものとします。

- (1) 産業・環境分野における技術高度化並びに生産性改善のための人工知能及びその利用技術に関する研究
- (2) デザイン向上のための知的環境構築支援システムに関する研究
- (3) 高齢者・身障者等の社会参加支援知的システムの開発に関する研究
- (4) ヒューマンインターフェース・マルチメディア・センシング感性処理システムの高度化に関する研究
- (5) インターネット・モバイルシステムの知的な利用法に関する研究
- (6) ヒューマノイドシステム・人工生命システムによる生活向上に関する研究
- (7) その他、人工知能及びその利用技術等に関する研究

【支援内容】 上限100万円

【支援期間】 研究助成金交付後2年以内

【公募時期】 ~平成17年9月30日

【問い合わせ】 (財)人工知能研究振興財団 (TEL:052-932-8951)

3. 今後の予定

9月12日 JST 独創的シーズ展開事業募集説明会 会場:(財)大阪科学技術センター

9月15日「若手研究人材のキャリア・ディベロップメント支援シンポジウム~若手研究人材の多様なキャリアパスの確立を目指して~」 会場:メルパルクOSAKA【新大阪】
主催:(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、近畿経済産業局

10月27-28日 南都銀行ビジネスフェア(奈良女子大学 産学官連携推進室 ブース出展有)

11月12-13日 大和郡山市商工フェア(奈良女子大学 産学官連携推進室 ブース出展有)

4. コーディネーター お勧めイラスト

A, B, C, D, E, F, N, S棟 のフロアガイド ベース用イラストデータが揃いました(H, Gも近日中に完成予定)。ご利用ください!!また、色の変更や、JPG, GIF ファイルなどへの変換なども行えます。(c.fujino@cc.nara-wu.ac.jp)



柱をとるもの簡単です! ご相談ください。